

公立病院改革プランの概要

団 体 名	北海道大樹町						
プ ラ ン の 名 称	大樹町立国保病院改革プラン						
策 定 日	平成	21年	3月	4日			
対 象 期 間	平成	21年度	～	平成	23年度		
病院の現状	病 院 名	大樹町立国民健康保険病院					
	所 在 地	北海道広尾郡大樹町暁町6番地2					
	病 床 数	一般52床 療養26床(介護10床、医療16床)					
	診 療 科 目	内科、外科、整形外科、小児科、眼科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	<p>○十勝圏では、帯広市を中心に二次・三次医療圏としての体制が整備され、機能分担が進んでいる。町立国保病院では引き続き、大樹町、幕別町忠類及び近隣町村を含めた一次医療圏として地域医療の役割を担っていく。</p> <p>○町内唯一の救急告示病院として、24時間救急患者を受け入れているほか、初期診断に基づき二次救急医療機関への搬送を行なう。</p> <p>○保健・介護・福祉と連携を図りながら、訪問診療、訪問看護及び訪問リハビリなど在宅医療を推進し、地域医療体制の充実に努めていく。</p>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付	<p>○一般会計からの繰入れについては、総務省自治財政局長通知の繰出し基準を基本とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の建設改良に要する経費 ・高度医療機器の導入に要する経費 ・不採算地区病院に要する経費 ・保健衛生行政事務に要する経費 ・児童手当及び基礎年金拠出金に要する経費 ・病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費 ・病院事業債元利償還金 ・救急に要する経費 ・リハビリテーションに要する経費 ・医師及び看護師等の研究研修に要する経費 						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	103.0	102.1	100.0	100.0	100.0	
	医業収支比率	74.6	77.2	78.9	81.8	82.6	
	職員給与費比率	90.3	84.1	83.0	82.0	81.8	
	病床利用率(療養)	94.3	95.9	-	-	-	
	〃 (一般)	58.0	54.7	96.2	96.2	96.2	
	〃 (合計)	70.1	68.4	96.2	96.2	96.2	
	1日平均患者数(外来)	149.2	145.0	150.0	150.0	150.0	
	〃 (入院)	54.7	54.0	50.0	50.0	50.0	
上記目標数値設定の考え方	<p>○計画初年度の21年度からも経常収支比率100%以上を維持しつつ、一般会計からの繰入れの圧縮を図る。</p> <p>○職員給与比率については、職員の給与独自削減を継続し、また、退職者不補充等により職員の適正配置を進め、人件費の抑制に努める。</p> <p>(経常黒字化の目標年度:21年度)</p>						

				団体名 (病院名)	北海道大樹町 (大樹町立国民健康保険病院)			
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
		紹介患者数	465人	470人	470人	470人	470人	
		救急車による患者数	136件	140件	140件	140件	140件	
		健康相談件数	227件	230件	240件	250件	260件	保健栄養指導の充実
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ○医事業務の委託化(H10年度から実施) ○給食業務の外部委託を検討 ○部門別原価計算、診療科別原価計算など民間的経営の手法を検討 					
		事業規模・形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○現在、一般病棟52床と療養病棟26床の2病棟78床で運営しているが、H21年度から療養病棟26床を廃止して1病棟とし、一般病棟52床で運営する。 ○医師確保の状況や医療環境等に合わせて診療機能を随時検討する。 ○地域住民からニーズの高い訪問看護及び訪問リハビリを強化促進する。 					
		経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ○管内自治体病院と連携して医薬品等の共同購入を行なうことにより、購入価格の縮減を図る。(H20年度から実施) ○職種や勤務実態、経営状況を踏まえ、適切な給与表の採用を検討する。 ○医師数、医療環境及び患者の動向に基づき、機動的な職員配置を図る。 					
		収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ○常勤医師を安定的に確保することにより、患者が安心して受診できる医療体制の充実を図る。 ○診療報酬改定時における研修会の充実を図り、請求漏れと査定減の防止に努める。 ○各部署と連携を強化し、未収金の発生防止に努める。また、未収金が発生した場合、支払督促や納入相談を行い早期回収に努める。 					
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ○接遇研修の定期的な開催、専門性や知識向上を図るための研修への参加など計画的な職員研修を実施することにより、患者本位の医療を推進し、地域の要望に応えていく。 					
各年度の収支計画		別紙のとおり						
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	68.4%	18年度	64.4%	19年度	70.1%	
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	○H21年度から療養病棟26床を廃止し、一般病棟52床に縮小することにより病床利用率の向上及び経営の健全化を図る。						

団体名 (病院名)	北海道大樹町 (大樹町立国民健康保険病院)
--------------	--------------------------

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	○十勝二次保健医療圏には8町8病院の公立病院が所在している。 公立芽室病院、土幌町国保病院、鹿追町国保病院、広尾町国保病院、池田町立病院、本別町国保病院、足寄町国保病院、大樹町国保病院となっている。		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	○H20年1月に北海道での「自治体病院等広域化・連携構想」では、帯広市を中心とした十勝二次保健医療圏が広域化・連携の区域設定となっている。 十勝は圏域が広域なことから、大樹町はサブ区域に設定されている。		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 平成25年度	<内容> 北海道が中心となって、「十勝管内自治体病院等広域化・連携会議」を設置したので、今後、広域化等について協議・検討を行なっていく。	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	収支目標や経営改善の取組状況等について、毎年、自己点検及び自己評価を行なうとともに、学識経験者等からなる委員会において評価を行なう。その内容については、ホームページ等において公表する。		
点検・評価・公表等	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	年1回		
その他特記事項				